

(別紙)

令和2年度第2回置賜地域保健医療協議会 報告・協議事項全体を通じた御意見等

委員名	御意見等	事務局からの回答
委員①	重点支援区域の指定を受け、補助金の額が増えたならば、地域性を考慮して（降雪、積雪対策として）、屋根付き駐車場（立体駐車場）も検討できないか。	重点支援区域の指定を受けた米沢市立病院、三友堂病院、三友堂リハビリセンターに御意見は伝えてまいります。
委員②		
委員③	病院のダウンサイジングにより病院機能を損なわないよう御検討よろしく申し上げます。	いただいた御意見に留意して検討を進めてまいります。
委員④	在宅医療の地域格差是正の手段・方法は？	知識・技術習得ができるような研修や会議（訪問看護師を対象としたスキルアップ研修会や在宅医療・介護連携推進のための情報交換会など）を開催し、管内の医療・介護関係者の資質向上を図ってまいります。また、会議等での意見交換の場を通じて、管内の在宅医療の関係者の各取組みの情報交換や相互連携を図ってまいります。
委員⑧	歯科医療体制について：置賜地区歯科在宅当番医制(休日診療)は、平成10年から現在まで年70日強実施しています。当初約270万円の委託料でしたが、県の費用対効果が薄いという方針で、平成28年から特異日のみの約60万円に減額されています。それでも、置賜地区3歯科医師会はこの金額で従来通りの当番医制を維持しています。休日の歯科救急診療体制は広く県民に周知されている現在、そのニーズは高いといえます。平成25年10月制定の「やまがた歯と口腔の健康づくり推進条例」第2条(2)では、適切かつ効果的な歯科保健医療サービスを受けることの環境の整備を推進すること、としています。県民の健康づくり推進のため、是非従来通りの委託料を復活していただけることを要望します。	県庁の担当課に御意見は伝えてまいります。
委員⑫	置賜保健所長発出の「保健・医療・福祉・消防・学校関係の皆様へ」の文書を有難く拝読しております。医療面に不得手な介護事業所であっても、新型コロナウイルスを「正しく理解し、正しく恐れる」にヒントを頂けたと思います。こういった医療面の知識を周知いただくと、業務に役立てることができます。	ありがとうございます。今後も情報提供を継続してまいります。

(別紙)

令和2年度第2回置賜地域保健医療協議会 報告・協議事項全体を通じての御意見等

委員名	御意見等	事務局からの回答
委員⑬	<p>米沢市立病院、三友堂病院、三友堂リハビリテーションセンターの再編・統合により、置賜構想区域においては165床の削減に繋がり、また、公立置賜総合病院においても100床程度の削減（一部削減済み）が予定されていることから、置賜構想区域における病床は大きく適正化が図られるものと期待している。一方で、今回の3病院の再編・統合がなされてもなお、病床機能ごとの病床数においては、高度急性期病床が依然不足し、急性期や慢性期病床が余剰するなど、機能ごとの過不足が依然見受けられる。特に高度急性期病床の不足については、医療の担い手となる医師や看護師等の確保も必要となることから、県主導のもと、必要な医師数の確保にさらに務めていただきたい。また、病床機能ごとには過不足があっても全体の病床数としては過剰の状況にあることから、全体最適を目指した医療資源の有効な活用方法についても議論を進めていただきたい。</p> <p>山形県地域医療構想置賜構想区域病院再編統合事業計画書においては、対象医療機関の再編統合後の病床機能等についての計画が記載されてあるが、これら病床機能の安定的な運用にあたっては、そこに従事する医師・看護師等の配置についても併せて示す必要があると考えることから、再編統合後の医療従事者数についても今後の資料においては公表をお願いしたい。</p> <p>なお、置賜構想区域においては、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」によれば、2015年から2025年にかけて65歳以上の人口の割合は36.2%と県全体平均を上回っており、また、県全体の75歳以上人口の将来推計においては、伸び率が1.1と全国で最も指数が低くなっている。つまり、本県（置賜構想区域）においては、65歳以上人口の増加と共に、75歳以上人口で見ると高齢化が進み切っている状況にあると推測できる。</p> <p>そのため、今後も質の高い効率的な医療供給体制を維持していくためにも、地域における医療機能の分化・連携への取組みについては可及的速やかに実現を図っていただきたい。</p> <p>山形県保健医療計画の置賜二次医療圏での進捗状況について (7)健康づくりの推進に関連して、協会けんぽの健診等データ（平成30年度）の分析結果から、山形支部は血圧リスク保有者割合が46.6%と全国の42.0%と比べて突出して高くなっており、二次保医療圏ごとと比較しても、置賜地域は51.0%と県内で2番目に高くなっている。この傾向は以前より継続してみられており、生活習慣病予防策として早急に対策を施す必要があると思われる。</p> <p>県においては、減塩ベジアップキャンペーンなど様々な対策を実施しているものの、未だ県民に浸透するには至っていないように感じられる。これらの取り組みは他の保険者当と共同で実施することでより高い効果が期待できるものと考えており、県民に共通した県主導で様々な関係団体を巻き込んだ事業として実施していただきたい。</p> <p>併せて、低栄養に対する対策と共に、生活習慣病予防を目的とした減塩に関する健康的な食事について、米沢栄養大学を有する置賜地域から、県全体を巻き込むような事業を展開していただくよう検討をお願いしたい。</p>	<p>医療資源の有効な活用方法、医療機能の分化・連携への取組みについては、引き続き、置賜地域保健医療協議会、病床機能調整ワーキングで議論を進めてまいります。</p> <p>米沢市立病院・三友堂病院・三友堂リハビリセンターの再編統合後の医療従事者数については、現時点では未定です。いただいたご意見について病院側に伝えるとともに、公表を検討してまいります。</p> <p>生活習慣病予防対策としては、特に管内では、糖尿病重症化予防モデル事業により、医療機関と保険者の連携による個別ケースへの支援、及び医療・行政合同カンファレンスで地域課題の分析を行いながら、各市町における減塩対策などの取組みの情報共有を進めております。こうした取組みについては、令和3年度から県内全域に拡大される予定です。</p> <p>健康的な食事については、令和3年度に健康な食事実態調査を行うとともに、米沢栄養大学をはじめとした関係機関と連携して新しい生活様式に沿った情報発信に取り組む予定です。</p>